特別対談　元内閣総理大臣夫人・社会貢献支援財団会長 **安倍昭恵** × 医師・医学博士・アーティスト **末武信宏**

私たちが平和の、光の柱を立てる！

安倍晋三元総理の体調を令和4年（2022）1月からケアをしていた医師であり、アーティストとしても活動している末武信宏氏。日本の素晴らしい技術力を再び、海外にも発信したい！と様々な活動を展開しています。末武氏たちの研究で生まれた、ヘルスケアの画期的なデバイス「Vagal Healer」を、安倍昭恵氏も早速試すことに。前回に引き続き前世療法やヒーリング、陰陽五行と「エナジーカラー」など、興味深い話が展開されました。

末武信宏『COSMIC GENESIS（宇宙創世）』

いろんなものが繋がっていく

末武信宏／前回お話ししたように、私は学術的な研究目的で、トラウマ（心の傷）による原因の可能性があり、医学的に問題ないと判断した方を対象に絞り、無償で30年間「前世療法」を行ってきました。医学的に何を試されても原因不明であるのに、どうしても痛みが取れないとか、そういった方に行ってきたのです。

前世療法では、様々な方々が非常に具体的に前世のことを語り、史実との一致など、整合性があります。その経験から科学者としても、私は前世、魂が存在すると信じています。

幼い頃から私は母と二人きりで暮らしてきましたが、実はその母が超能力者でした。私が16歳の時、母はある眼科の誤診で失明しました。緑内障だったのに、長期間ステロイドを処方され続けて悪化しました。半年以上、入院し何回か手術しましたが、視力は戻りませんでした。しかし、それから不思議な能力が顕著に現れてきました。

母親が念じて撫でるだけで、スプーンは捻れていき、人の声を聞くだけで、その人がどういう人なのか教えてくれました。裏返しにしたトランプの絵柄、数字を100％の確率で透視できました。彼女が伝える多くの予知が現実となりました。そういう不思議な能力を幼いころより身近に見てきたので、私にとって、超能力はあるか、ないかではなく、当然の日常でした。

当時は防衛大学に超心理学教室という講座があり、大谷宗司教授が超能力の研究をしていました。母も研究要請をされたのですが、本人が嫌がったので、お断りしました……。

安倍昭恵／目が見えない中で、お母さんが一人で先生を育てていたのですか。すごいですね。

末武信宏／すごく感謝しています。失明しても高校生の息子を育てなければいけない、という使命感で、自分の体を犠牲にして育ててもらえた、と思っています。

母は48歳で失明して、最期は膵臓癌で苦しんで亡くなりました。でも、ある能力者に「それは、自分で決めて生まれてきているのです、息子のように、私は学術的な研究目的で、トラウマ（心の傷）による原因の可能性があり、医学的に問題ないと判断した方を対象に絞り、無償で30年間「前世療法」を行ってきました。医学的に何を試されても原因不明であるのに、どうしても痛みが取れないとか、そういった方に行ってきたのです。

前世療法では、様々な方々が非常に具体的に前世のことを語り、史実との一致など、整合性があります。その経験から科学者としても、私は前世、魂が存在すると信じています。

幼い頃から私は母と二人きりで暮らしてきましたが、実はその母が超能力者でした。私が16歳の時、母はある眼科の誤診で失明しました。緑内障だったのに、長期間ステロイドを処方され続けて悪化しました。半年以上、入院し何回か手術しましたが、視力は戻りませんでした。しかし、それから不思議な能力が顕著に現れてきました。

母親が念じて撫でるだけで、スプーンは捻れていき、人の声を聞くだけで、その人がどういう人なのか教えてくれました。裏返しにしたトランプの絵柄、数字を100％の確率で透視できました。彼女が伝える多くの予知が現実となりました。そういう不思議な能力を幼いころより身近に見てきたので、私にとって、超能力はあるか、ないかではなく、当然の日常でした。

当時は防衛大学に超心理学教室という講座があり、大谷宗司教授が超能力の研究をしていました。母も研究要請をされたのですが、本人が嫌がったので、お断りしました……。

安倍昭恵／目が見えない中で、お母さんが一人で先生を育てていたのですか。すごいですね。

末武信宏／すごく感謝しています。失明しても高校生の息子を育てなければいけない、という使命感で、自分の体を犠牲にして育ててもらえた、と思っています。

母は48歳で失明して、最期は膵臓癌で苦しんで亡くなりました。でも、ある能力者に「それは、自分で決めて生まれてきているのです、息子のように、私は学術的な研究目的で、トラウマ（心の傷）による原因の可能性があり、医学的に問題ないと判断した方を対象に絞り、無償で30年間「前

末武信宏『宇宙の花』　鉱石や真珠など、地球が作り上げたものと、ローマコイン、カメオなど、人類の作ったもので構成された「宇宙の花」です。

安倍昭恵氏、末武信宏氏。二人が手にしているのは、末武信宏氏の作品「宇宙の花」。対談が決まり、昭恵氏に渾身の作品をプレゼントしたい、と末武氏が３ヶ月がかりで作製したものです。右ページ下の写真と説明文をご参照ください。

元内閣総理大臣夫人
社会貢献支援財団会長
安倍昭恵（あべ・あきえ）

昭和 37 年（1962）東京都生まれ。昭和 62 年、安倍晋三氏と結婚。平成 18 年（2006）、安倍元総理（第 90 代）の韓国・中国訪問で、ファーストレディとして実質的な外交デビュー。平成 24 年 10 月、神田に居酒屋「UZU」を開店。平成 24 年 12 月より、安倍氏の第 96 代内閣総理大臣就任により再びファーストレディとして活動。公益社団法人 社会貢献支援財団会長。著書に『安倍昭恵の日本のおいしいものを届けたい！ 私が UZU を始めた理由』（世界文化社）『「私」を生きる』（海竜社）『どういう時に幸せを感じますか？』（ワック）。

さかえクリニック院長、順天堂大学
医学部非常勤講師、医師・医学博士、
アーティスト
末武信宏（すえたけ・のぶひろ）

昭和 37 年（1962）1 月 10 日岐阜県生まれ。昭和 62 年、岐阜大学医学部卒業。平成 8 年（1996）、さかえクリニック開業（外科、内科、皮膚科、形成外科、美容外科）。平成 23 年、順天堂大学大学院医学研究科博士課程卒業。トップアスリート株式会社代表取締役就任。令和 5 年、ヒューマンテクノ株式会社代表取締役就任。国際抗老化再生医療学会理事、日本美容内科学会理事、日本肺活協会理事。
平成 26 年からアーティストとしての活動もスタート。令和 5 年（2023）11 月 24 ～ 26 日、皇室御香華院御寺泉涌寺にて、世界的金箔アーティストのヒロト・ラクショウ氏と個展を共催。著書に『先端アンチエイジング医療』『アンチエイジング医療最前線』『次世代美容医療×アート』（KK ロングセラーズ）ほか。

安倍昭恵氏

末武信宏氏

安倍昭恵／先日、沖縄に行った時は、これからは女性たちが祈ることが大事だと言われました。

昔は沖縄の御嶽（うたき）に入れたのは女性だけでしたし、グスク（御城）の後ろにある祈りの場も女性しか入れなかった……。女性が祈ることが大事なのだ、と。

私は、山口県の壇ノ浦に「光の柱を立てる」とずっと言い続けているのです。「平和の光の柱を立てたい」とくり返し訴えていると、なんとなくそういう人たちが集まって来ると思っています。

私が主人と結婚した縁というのも、もちろん主人との縁もあるのですが、山口県という土地に選んでもらったという感覚がすごくあるのです。主人が亡くなっても、ずっと住民票は置いておきたい、何か山口のためにできたら良いと思っているのです。

また、どうしても岸信介の方が、安倍寛よりも主人にフィーチャーされますが、やはり山口の安倍家というものも非常に大事に思っています。安倍家のルーツも辿っていきたい、と考えているのです。

末武信宏／すごく意義あることだと思います。

「陰陽五行」と魂の色「エナジーカラー（SOUL COLOR）」

末武信宏／私も当初は、母と違って特別な能力がなかったので、スピリチュアルなことや超能力には関心がありませんでした。ところが、30歳の時に原因不明の背中の激痛が起こってから、いろいろなものが感じて見えるようになりました。一番よく分かるのは、人の魂のことです。

「青・赤・黄・白・黒」の5色で「エナジーカラー」というのですが、人を見ると青に見えるわけではなくて、そう感じる。最初はそれが何なのかよく分からなかったのです。例えば盛り場とかに行くと、一般の方は青が多く、経営者の方に青はほとんどいなかった。クラブのママは赤で、トップ・アスリートは多くが白あるいは赤と……。それで、色にも何か意味があるのではないかと調べていったら「陰陽五行」に行き当たったのです。

中国の歴史の中で、秦の始皇帝が陰陽師のような能力者を宮廷で雇い、王朝交替の原理として取り上げたのが「陰陽五行論」です。「五行」とは宇宙のあらゆる物を生成させる根本元素であり、「木（青）・火（赤）・土（黄）・金（白）・水（黒）」です。神事である相撲でも、土俵の南に赤、北に黒、東に青、西に白、そして中央が黄と、この5色が決まっています。

月と太陽があって「月火水木金土日」となるのですが、それを除いた「木・火・土・金・水」が、小宇宙である人間の魂と対応しているのです。ですから、必ず、この地球上には「青・赤・黄・白・黒」といった色を持った魂があります。これが私にも見える、というか感じられるのです。

そして実は、黄、黒がほとんどいなくて、8割の方が青だったりと、5色が同じ比率で存在しているわけではありません。社会の成り立ちは「2対8（にはち）の法則」といって、2割のロイヤルカスタマーが8割の売り上げを作るとか（ロイヤルカスタマーが顧客全体の2割程度に過ぎなかったとしても、彼らが生み出す利益が全体の8割になる）、ピラミット型で2割の人が組織の8割をコントロールするとか……、神様がそのような魂の配分を考えられたのだろう、と想像します。

昔はそれをしっかり透視できる方がいて、国を治める時にジャッジしたのでしょう。東洋西洋を問わず、昔から皇帝の色は黄でした。

末武信宏『Hyper Nebula ハイパーネビュラ』

始皇帝もそうですし、今でも、ボクシングのチャンピオンのトランクスや、ツール・ド・フランスとか、スキーのジャンプもチャンピオンのゼッケンは黄です。魂が黄の方というのは、各界の頂点に一番立ちやすい色なのです。星野仙一監督や武豊さんがそうです。

私がこの「エナジーカラー」のことをいろんな方にお伝えしてその意味を理解していただくと、アスリートもビジネスにおいても良い結果が出ました。青だと知って「一般人だからショックだ」と言う方もいるのですが、人をサポートして組織を支える大切な色なのです。指導者ばかりがいたら、組織は成り立ちません。8割はベースで支えていただける人がいないといけないのです。だから、8割は青で成り立っているのが、おそらく神様が魂の役割を配分して創作したであろう陰陽五行の世界なのです。

安倍昭恵／興味深いですね。その色を変えることはできないのですか？

「エナジーカラー」とは？

安倍昭恵／主人の「エナジーカラー」は何色だったのですか？

末武信宏／赤です。赤の方はセンス、感性の人なのです。実は、赤の色が一番守備範囲が広く、経営者にもなるし、その卓越したセンスを応用して様々な仕事ができるのです。私の知り合いの経営者もすごい直感と経営センスだけで、1500億円の売り上げのオーナー企業を二代で創り上げられました。

安倍先生の場合は、持って生まれた感性で長期政権を保たれた、と私は思っています。パワー系でガンガン行くというよりも、政治家としての感性が熟し、あのような長期政権を実現されたのでしょう。外交問題に対しても、いろいろとバランスが良かったのだ、と思うのです。

身体のケアをさせていただいた時、「エナジーカラー」が赤だったので、金属は相性が悪いため、金属はできる限り身に着けないようにして、鍼治療はやめてくださいと言いました。安倍先生の体には鍼は絶対ダメでした。

安倍昭恵／鍼は好きだったのですが……。

末武信宏／でも、ダメなのです。鍼はかえってマイナスになってしまいます。金属と合う人、合わない人がいるのです。

安倍昭恵／だから、結婚指輪もしなったのかしら……。一日もしなかったのですよ。（大笑）

末武信宏／そうなのでしょう。昭恵さんも、赤ですね。

安倍昭恵／私は、何に気をつけたら良いのでしょう？

末武信宏／赤の人は、悪いものが来たら避けて、うまく柔軟に対応すること。無理矢理、自分のパワーで向かっていくと、大体ダメになります。ちなみに、白は逆で、ガンガンにパワー系で行くと成功される方が多いです。カリスマと呼ばれる方が多い色ですね。しかし、赤の人は自分のセンスや、感性を生かした方が良いのです。

貴金属はあまり身につけない方が良いですね。要人の方とお会いする時は良いのですが、寝る時は外した方が絶対に良いです。あと、身に付けるものにワンポイントで赤をおかれると良いですね。

安倍昭恵／先生は何色なのですか？

末武信宏／私たちが行っている「ヒーリング」というものは、例えば痛いところがあるなら、「ここが痛いのですね」とそこに意識をしていただき、私の手をかざしたり触れることで、「何かをやられている」というスイッチが入る。すると、魂が総動員で「ここを治さなければいけない」とエネルギーが入っていって、痛みが軽減したり治るのです。あくまでも、自分で治すのであって、決して他人のエネルギーやパワーで治るのではありません。

　あくまでもヒーラーとは、そこに気付きを与え、「そこが痛んでいるから、魂も総動員して治しましょう」というスイッチを入れているだけなのです。すごいエネルギーを与えたのだとか、それは物理的に絶対にないと思います。

安倍昭恵／例えば、ある教祖が「あなた、歩けますよ」と言って、信者でない方が歩けるようになったりするのも、自分の力なのですか？

末武信宏／そうです。教祖のパワーではなく、自分で治しているのです。医者にしても、科学的に、あくまでも治療の補助をしているだけであり、ヒーラーもそうだと思います。ヒーラーのパワーで治す、というのは違うのです。

安倍昭恵／私も興味があったので、いろんなところに行かされて、ある宗教では教祖に近い女性がその場へ行くと、みんなが一斉に注目して、踊り始めるのです。

末武信宏／それは、暗示、集団催眠ですね。暗示や催眠術の力もすごいものです。私たちが行っている「ヒーリング」とは違うものですが。私たちの「ヒーリング」は、その方の魂に問いかけて、その方の能力を引き出すのです。その一部はプラシボー効果かもしれません。

安倍昭恵／人の魂とも話ができるのですか？

末武信宏／はい。中国で肝臓移植をされて亡くなった方の奥様から「自分が強く手術を勧めたため、亡くなってしまったので、どうしても夫がどう思っているのか知りたい。謝りたい」と相談を受けたこともあります。ご主人の魂に降りていただいくと、その方しか知らないことを話し出しました。いきなり最初に「線香を緑にしてもらえないか」と、ご主人は緑が好きな方だったようですが、3日前に茶色の線香をもらったので、それに変えたばかりだったと。彼女しか知らない子供たちのことも具体的にいろいろ話されていました。間違いなく亡くなられたご主人と会話できたと喜ばれていました。

　この30年間、いかなる霊能力者よりも具体的に多くの魂たちとお話してきました。魂というものは存在しますし、実はすぐ近くにいらっしゃるのです。

安倍昭恵／天国に昇ってしまうということではないのですか？

末武信宏／少し、違います。3次元ではない、次元が違うだけなのです。

アートは境界を越えて人々を結ぶ

安倍昭恵／先生は、本当にいろんなことをご存知で、様々なことに取り組まれていますね。

末武信宏／最終目標は私もアートなのです。世界的金箔アーティストのヒロト・ラクショウ先生が、昭恵さんと世界平和に貢献できるようなアートを作る、という話をされていました。私もラクショウ

日本美容内科学会主催学術集会で講演する末武信宏氏。

安倍昭恵「書」×裕人礫翔「箔」『花は咲く Hana wa Saku』（和紙・本金箔）

先生とは生涯初の個展をご一緒させていただいています。

　私も、まだ誰も見たことがないような綺麗なアートを作って、その収益で視覚障害の方々の支援をしたいと思っています。母がそうでしたし、私も目の疾患に苦しんできました。視覚障害の方は見た目であまり分からないから、一般の方に理解されづらい。しかし視力を失うことはものすごく辛いことだと思うのです。

　そのような思いもありまして、ラクショウ先生と「ザ・ダ・ヴィンチ・アートプロジェクト」という商標登録を取りまして、レオナルド・ダ・ヴィンチの再現を目指すアーティストの活動もしています。

安倍昭恵／トランプ大統領にも、ラクショウ先生とコラボした作品で、私が「和」という字を書いた『ピース』という作品を差し上げました。残念ながら、それはすぐに平和には繋がっていないかもしれませんが、アートの力というものはこれから世界中ですごく有効だと思っています。

　アートは境界を越えて人々を結ぶことができる、と思うのです。

末武信宏／昭恵さんとラクショウ先生の、京都・清水寺での「書と創作箔のアート展」も素晴らしかったです。そもそもラクショウ先生は、安倍先生が伊勢志摩サミットの晩餐会で各国首脳に披露した尾形光琳作の屏風を復元したアーティストですから、すごいご縁ですよね。

安倍昭恵／いろんなものが繋がっています。ラクショウ先生もいろんな個展をされていて、ものすごく忙しい中で私に付き合ってくださってます。

　また、京都で大文字焼きの時に二人でコラボしますので、よろしくお願いいたします。

安倍昭恵「書」×裕人礫翔「箔」『和 Peace』（和紙・本金箔）